

令和4年度

東京都中学校体育連盟

バドミントン部専門委員総会

令和4年4月21日(木)

1, 開会の挨拶

2, 令和3年度 事業報告

- ・総務委員会
- ・競技委員会
- ・審判委員会
- ・強化普及委員会

会計報告 会計委員会

3, 役員委員の承認

4, 令和4年度 事業計画

- ・総務委員会
- ・競技委員会
- ・審判委員会
- ・指導普及委員会

予算案 会計委員会

5, ブロック顔合わせ・委員長・副委員長確認

日程等打ち合わせ

6, その他

7, 閉会の挨拶



都中体連バドミントン部公式ホームページ

<http://tokyo-ctrbad.com/>

東京都中学校体育連盟バドミントン部

検索

令和4年度

役員・委員

顧問	横田 和長（杉 並・松 ノ 木中）
	溝口 千里（板 橋・高 島 二中）
参与	田極政一郎（武蔵野市教育委員会）
	島 朝樹
	渡辺 英俊（青 梅 市教育委員会）
役員 部 長	新井 博幸（板 橋・志 村 五中）
副部長	中居 光仁（町 田・鶴 川 中）
	原 善哉（昭 島・清 泉 中）
会計監査委員	西田 明史（江 東・深 川 七中）

推薦常任委員（各実務委員 委員長・副委員長）

鈴木 寛 （大 田・羽 田 中）	今村 吾朗（練 馬・石神井西中）
中尾 佳彦 （ 北 ・王子桜中）	吉田 篤郎（江 東・第二南砂中）
清水 正人 （調 布・第 三 中）	石原 春彦（武蔵村山・第 三 中）
青森 一博 （八王子・第 六 中）	

推薦専門委員（各実務委員）

佐藤 雄司（江戸川・松江第四中）	中條 洋一 （府 中・第 十 中）
小野寺達彦（豊 島・淑徳巣鴨中）	井上 幸治 （府 中・第 八 中）
松本 幸雄（八王子・ひよどり山中）	磯貝 友美 （葛 飾・奥 戸 中）
芦澤 歩夢（武蔵野・藤村女子中）	佐々木しおり（豊 島・淑徳巣鴨中）
下川 勝久（江戸川・鹿 骨 中）	

ブロック役員（委員長・副委員長）

	ブロック委員長	ブロック副委員長	
A	長崎 秀史（渋 谷・広 尾 中）	青木 栄祐（大 田・大森四中）	
B	飯田 到 （練 馬・大 泉 中）	野中 諒子（板 橋・志村三中）	古谷 誠 （中 野・北中野中）
C	工藤 篤志（荒 川・第 四 中）	宮本 好美（江 東・南 砂 中）	
D	中居 光仁（町 田・鶴 川 中）	氏井 聡 （八王子・四 谷 中）	馬場 公浩（多 摩・鶴 牧 中）
E	高寺 徹 （小 平・第 二 中）	安井 有介（東村山・明治学院中）	大森 洋明（青 梅・新 町 中）
F	野内 由紀子（小笠原中）		

実務委員会

総務委員会

委員長 石原春彦（武蔵村山三中）
副委員長 馬場公浩（鶴牧中）
委員 大森洋明（新町中）

競技委員会

委員長 鈴木 寛（羽田中）
副委員長 青森一博（八王子六中）
委員 井上幸治（府中八中） 飯田 到（大泉中） 野中諒子（志村三中）
古谷 誠（北中野中） 中條洋一（府中十中） 工藤篤志（荒川四中）
佐藤雄司（松江四中） 安井有介（明治学院中）
野内由紀子（小笠原中） 長崎秀史（広尾中） 青木栄祐（大森四中）

指導普及委員会

委員長 氏井 聡（八王子四谷中）
副委員長 清水正人（調布三中） 今村吾朗（石神井西中）
委員 磯貝友美（奥戸中） 合田洋平（東大和一中）
小野寺達彦（淑徳巣鴨中） 芦澤歩夢（藤村女子中）
佐々木しおり（淑徳巣鴨中） 松本幸雄（ひよどり山中）

審判委員会

委員長 中尾佳彦（王子桜中）
副委員長 吉田篤郎（第二南砂中）
委員 宮本好美（南砂中） 下川勝久（鹿骨中）

会計委員

委員長 高寺 徹（小平二中）

総務委員会

令和3年度反省

【業務内容】

1. 常任委員会、専門委員会招集、文書作成と発送、会議の司会と記録
2. 反省事項と申し送り事項
 - 1) 常任委員会の招集、会議録と報告書の作成
→ 会議録は電子データとして作成・管理することを今後も継続する。
 - 2) 都教委・中体連本部への結果報告
→ 電子メールによる報告を今後も継続する。
→ 都総体は、都総体のまとめを担当する中体連の担当者にこれまで通り送付する。
 - 3) 新型コロナウイルス感染症対策
→ 都大会で使用している監督証を使い捨てシールに変更した。
 - 4) 中体連バドミントン部公式ウェブサイトの管理
→ 公式HPの作成を総務委員会が請け負うようにした。
→ 大会実施の有無などを適宜掲載するように心掛けた。
→ 協会登録に関するページを作成し、登録が円滑に進むように改善を図った。
 - 5) 中体連加盟校名簿の管理
→ 数年前より改訂が滞っている。管理が必要なのかどうか確認する。管理が必要な場合は、部員数調査は実施をする。
 - 6) 協会登録
→ 登録データの相違による、登録担当者の負担が大きい。
→ 登録担当者ではなく、都協会に直接問い合わせるケースが散見された。
→ 公式ホームページに協会登録用のページを設けたことにより、周知できるようになった。
→ 日本バドミントン協会のシステムが変わったことにより、顧問が登録できるシステムに変更していきたい。

令和4年度業務予定

【業務分担】

1. 常任委員会・専門委員会の招集、司会進行	石原	馬場	
2. 会議録の作成・保管	石原		大森
3. 開閉会式の司会進行	石原		大森
4. 賞状・副賞準備		馬場	
5. 監督証・役員証の管理	石原		大森
6. 競技結果の記録および保管		馬場	
7. 都教委・中体連本部への結果報告		馬場	大森
8. 中体連バドミントン部公式サイト管理		馬場	
9. 記録		馬場	
10. 専門委員名簿・常任委員名簿の作成	石原		
11. 加盟校名簿の更新			大森
12. 協会登録	石原		

**新型コロナウイルス感染症拡大防止のための試合時間確保により
開会式は例年とは異なり諸注意のみ行う。**

東京都総合体育大会

兼 東京都中学校バドミントン選手権大会 開会式について

兼 関東中学校バドミントン大会予選会

1. 団体戦の日は、受付を済ませた後、選手は各ブロックの整列位置に移動し、9時15分までに整列を完了してください。
2. 整列位置の詳細は常任委員会で配布しますが、以下を原則とします。
 - ・プラカードを持つ生徒は、各ブロック女子1位の主将とします。
 - ・プラカードを持っている生徒の後ろに、各校1列で並んでください。
 - ・各ブロックとも本部に向かって右に男子、左に女子となるように並んでください。
 - ・1位・2位が最前列、1位の後ろに奇数順位の学校、2位の後ろに偶数順位の学校が並びます。
3. 入場行進は、プラカードとの間隔を約2メートル空けた上、左右の列を揃えて行います。
4. 退場行進は、Aブロックの男子に続いて女子、Bブロックの男子・・・のようにプラカードを持った生徒に続いて行進します。なお、会場の都合によっては、外側のブロックから同時に実施や、退場行進自体を行わないことがあります。
5. 式次第
 - ①開会宣言
 - ②優勝杯（団体及び個人）返還ならびにレプリカ授与

男子：団体=淑徳巣鴨	シングルス=淑徳巣鴨	ダブルス=淑徳巣鴨
女子：団体=淑徳巣鴨	シングルス=淑徳巣鴨	ダブルス=淑徳巣鴨
 - ③挨拶
 - ④大会実施上の諸注意

競技上の注意	〔 競技役員長 〕
審判上の注意	〔 審判委員長 〕
会場使用上の注意	〔 会場指導委員長 〕
 - ⑤閉式通告

都大会表彰規定

大会名	種目	順位	賞状	副賞
都総体選手権	団体	1位	都教委+都中体連	カップ（都中・要返却）・メダル（都教委・6cm8個）
		2位	都教委+都中体連	メダル（都教委・都中6cm8個）
		3位	都教委+都中体連	メダル（都教委と都中6cm8個）
	個人	1位	都教委+都中体連	カップ（要返却）・トロフィー（中体連）・メダル（都教委）
		2位	都教委+都中体連	トロフィー（中体連）・メダル（都教委）
		3位	都教委+都中体連	トロフィー（中体連）・メダル（都教委）
新人	団体	1位	都中体連	カップ（要返却）・メダル（4cm8個）
		2位	都中体連	メダル（4cm8個）
		3位	都中体連	メダル（4cm8個）
	個人	1位	都中体連	楯
		2位	都中体連	楯
		3位	都中体連	楯

※団体戦のメダル（新人4cm、夏6cm）は各校8個を用意する。

※個人のメダル（6cm）は、一人1個を用意する。

※賞状は、団体：A3版ノビサイズを各校1枚 個人：A4版ノビサイズを各人1枚用意する。

※選手権大会の賞状・副賞（団体：メダル・個人：トロフィー）は都教委に加え中体連も授与する。

※関東大会出場校には別途賞状を授与する。

※新人大会（団体戦）前年度1位にはレプリカを授与する。

令和3年度

大会成績

東京都中学校体育連盟バドミントン専門部

	種目	優勝	準優勝	3位	3位
選手権大会	男子団体	淑徳巣鴨	実践学園	七国	志村第二
	女子団体	淑徳巣鴨	調布第三	実践学園	東京家政学院
	男子シングルス	石崎夏生	桃井亮磨	水谷友弥	加藤瑛之
		淑徳巣鴨	開進第一	淑徳巣鴨	淑徳巣鴨
	男子ダブルス	江口幸輝・伊東真輝	福島幸輝・鈴木泰芽	金 朱暎・三橋蒼空	野呂有矢・中嶋真志
		淑徳巣鴨	淑徳巣鴨	志村二	馬込
	女子シングルス	山口祐香	樋口丹里	金岡 薫	佐藤 杏
		淑徳巣鴨	稲城第五	陵南	淑徳巣鴨
新人大会	男子団体	鈴木あいり・篠原那奈	田中珠聡・高橋乃愛	小池 葵・堀 楓果	武田沙綾・白坂流璃
		淑徳巣鴨	淑徳巣鴨	佃	淑徳巣鴨
	男子団体	優勝（4校）			
		武蔵村山第三	小平第二	淑徳巣鴨	佃
	女子団体	優勝（4校）			
		淑徳巣鴨	東京家政学院	調布第三	大森第四
	男子シングルス	関口快斗	石井大翔	木村一護	黒川蒼史
		淑徳巣鴨	実践学園	淑徳巣鴨	練馬
	男子ダブルス	佐藤策太・岡部 翔	野口馳矢・城戸友翔	小谷翔太・長田 空	中嶋真志・金子歩夢
		淑徳巣鴨	淑徳巣鴨	大森第四	馬込
	女子シングルス	金岡 薫	樋口丹里	東 里桜	飯田志歩
		陵南	稲城第五	実践学園	羽村第一
	女子ダブルス	田中珠聡・高橋乃愛	丹野沙奈美・近藤梨花	葛城杏里・広瀬紗麗	酒井玲菜・宮本青璃
		淑徳巣鴨	淑徳巣鴨	淑徳巣鴨	調布第三

新人大会において新型コロナウイルス感染症対策として、準決勝・決勝を行わず、4校同時優勝とした。

競技部

令和 3 年度事業報告

- ①選手権大会、新人大会の運営を円滑に行うことができた。
- ②選手権大会（葛飾区水元総合スポーツセンター、練馬区立光が丘体育館
葛飾区水元総合スポーツセンター、練馬区立総合体育館）
新人大会（葛飾区水元総合スポーツセンター、稲城市総合体育館）
冬季大会（練馬区光が丘体育館、府中市立府中第三中学校）
※3大会を各自治体の協力を得て、公共の体育館で実施することができた。冬季大会
においては学校体育館での実施になった。
- ③生徒の安全確保、感染防止に配慮して大会を運営した。
- ④各大会において、参加確認書の提出を徹底した。
- ⑤総務と協力してホームページを更新した。
- ⑥大会会場となる体育館との事前打ち合わせを行った。
- ⑦プログラムのデジタル化した。
- ⑧組み合わせ会議では、前日までにメールで仮申し込みをすることにより、当日の組み合わせがスムーズに行えた。冬季大会の組み合わせは日程を変更して行った。

令和 4 年度事業計画

- ①選手権大会、新人大会の運営を円滑に行う。
- ②次年度の大会会場を確保する。
- ③生徒の安全確保、感染防止に配慮して大会を運営する。
- ④各大会において、参加確認書の提出を徹底するようにする。
- ⑤総務と協力してホームページを更新する。
- ⑥大会会場となる体育館との事前打ち合わせを行う。
- ⑦プログラムのデジタル化を継続する。

大会実施上の規定

東京都中学校体育連盟バドミントン部

中学生として節度あるスムーズな大会の進行を期するため、応援者、卒業生なども含めて本部の指示、及び次の規定を厳守すること。守れない場合には、出場停止を含む処分をする。

1 受付

大会開始時刻までに参加校の引率者が必ず公印を押した参加確認書を提出し、受付を済ませる。引率者が部活動指導員の場合は、部活動指導員確認書（校長承認書）も提出する。

2 監督・部活動指導員・コーチ・外部指導者・引率者・助言者

（１）監督・引率者は出場校の校長・教員・部活動指導員とする。複数の教員が引率する場合は、１名を監督、他の者をコーチとする。競技フロア内では監督証、コーチ証を常に着用する。

（２）部活動指導員については、学校教育法施行規則の一部を改正する省令の施行について（通知）（平成２９年３月１４日付け２８ス庁７０４号）により、学校教育法施行規則第 78 号の 2 に示されているものとする。また、参加確認書の所定欄に任命者を記入すること。

（３）外部指導者については次の条件をすべて満たし、大会本部が認めた者とする。

①当該校の校長の承認のもとで、継続的に部活動の指導にあたっている 20 歳以上の者で、当該年度の運動部指導者証（ＩＤカード）の交付を受けている。

②参加確認書の所定欄に氏名を記入のうえ、受付時に運動部指導者証（ＩＤカード）を提示する。競技フロア内では運動部指導者証（ＩＤカード）を常に着用する。運動部指導者証を申請中の場合は、申請書のコピーを受付時に提示し、外部指導者証を受け取り、競技フロア内では常に着用する。なお ID カードには写真を貼付すること。

（４）助言者は校長が承認した者とし、参加確認書の所定欄に氏名を記入し、競技フロア内では助言者証を常に着用する。

（５）個人戦の引率については、日常指導している校長・教員・部活動指導員が引率できず、校長がやむを得ないと判断した場合に限り、「東京都中学校体育大会監督・引率細則」により、学校長が承認した者の引率による参加を認める。その場合、東京都中学校体育大会監督依頼報告書を受け付け時に提出する。

書類は東京都中学校体育連盟のホームページからダウンロードすること。

①監督は校長が当該地区の専門委員、または都常任委員に所定の手続きをもって依頼し、当人の承諾を得る。

②引率者は次の中から、校長が認めた者とする。

i 当該校の学校職員（日常指導している校長・教員・部活動指導員以外）

ii 当該校の部活動を指導している外部指導者

iii 当該生徒の保護者

（６）校長・教員・部活動指導員以外の引率者には、監督の資格を認めない。依頼された監督の任務は、会場における監督者会議への代理出席とその内容の伝達にかかわること（大会出場中の安全管理も含む）のみとし、ベンチ入りはできない。

（７）監督・引率者は応援の者を含めて、最後まで責任をもって生徒を指導する。また、監督・コーチ・外部指導者・助言者は、大会要項・競技規則・大会実施上の規定・本部の指示などを遵守し、大

会運営に協力する。

- (8) 大会に出場する参加校の引率者、監督、部活動指導員、外部指導員、助言者等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により、任命権者または学校設置者から懲戒処分を受けていない者とする。

3 試合

- (1) 試合では常にフェアプレーを心がけ、行動を速やかにする。また、相手を威嚇したり、不快の念を抱かせないようマナーに注意する。
- (2) 汗ふき及び水分補給、靴ひもの締め直し、ラケットの交換等が必要な場合は、主審の許可を得る。ただし、水分補給はフロアでの水分補給が認められている場合のみとし、入れ物はフタの閉められるものとする。
- (3) 団体戦の試合前後には、選手と監督が整列し、あいさつをする。
- (4) 団体戦では、対戦相手が決まり次第速やかに本部にオーダーを提出し、選手は会場内に待機する。
- (5) 団体戦の1対抗を複数コートで行う場合、試合順にかかわらず団体の勝敗が決した時点で他の試合を打ち切る場合がある。
- (6) 団体戦でコートサイドの選手席に入れるのは、当該校の登録選手及び監督・コーチ・外部指導者とする。コーチ席にはそのうち2名以内とする。
コーチ席には公認審判員規程第3条第5項第6号を厳守し試合にふさわしい服装で臨み、体育館シューズで入場すること。(スリッパ・サンダル・裸足は不可)
- (7) 選手はシャトルがインプレーでないときに限り、コーチ席より試合中にアドバイスを受けることができる。ただし、プレーの進行を遅らせてはならない。
- (8) インターバルの時に競技区域内でアドバイスできるのは、当該校の監督・コーチ・外部指導者・助言者・生徒1名のうち2名以内とする。
- (9) インターバルを除いて、選手は主審の許可なくコートを離れることはできない。
- (10) 審判への質問については、審判員の判定に対して疑問のある場合は当該プレーヤーが、団体戦の場合は当該プレーヤーと監督に限り質問することが認められる。ただし、抗議あるいは異議であってはならない。

4 服装

- (1) 頭髪、服装は大会の品位を損なわないものとし、さっぱり整える。服装は日本バドミントン協会審査合格品とする。シャツは東京都中学校体育連盟バドミントン部認定のウェア(関東記念ウェア過去3年まで)・白単色の襟付きについては、着用を認める。また、ウェアから極端にはみ出すタイプのインナー等の着用は認めない。
- (2) 上衣の背中中央部には、縦20cm 横30cm の範囲内に校名(〇〇中とする)の表示をすること。また、校名の下に姓を入れるのが望ましい。文字は日本文字(楷書)で明記すること。チーム内に同姓がいる場合には名前の一文字目を小さく入れること。シャツの地色が黒または紺色と同系色で、文字が見えにくい場合は文字を白色とする。
- (3) ウェア(上衣)の裾はマナーとして下衣に入れること。
- (4) 健康器具などのネックレスや手首等にバンドなどを着用しての試合を禁止する。

5 応援・会場使用

- (1) 応援は拍手のみを原則とし、会場全体の試合の妨げにならないようにする。フロアでの写真やビデオの撮影については原則不可とする。フロアを除く会場内での撮影は許可するが、会場の電源の使用はしない。報道機関や学校から依頼された業者（卒業アルバム等）等の撮影については、事前に競技役員に許可を取る。
- (2) 個人で撮影した画像や動画をSNSなどを通じて、インターネット上に公開しない。
- (3) 空いたコートを勝手に使用しない。また、競技フロア内では試合の進行を妨げないように注意する。
- (4) 体育館シューズと外履きの区別は会場の規定をしっかりと守る。
- (5) 指定された場所以外には、絶対に立ち入らない。
- (6) カン・ビン類、菓子類は一切持ち込まない。
- (7) 昼食は指定された場所で行う。ゴミは必ず持ち帰り、会場やその周辺には残さない。
- (8) 更衣室には荷物を放置しない。特に貴重品は各自又は学校ごとに管理する。
- (9) その他、会場の使用にあたっては、会場の規定及び本部の指示に従う。

6 審判

- (1) 試合に負けた学校及び本部より指定された学校の生徒は、ただちに、本部の指示に従って、指定された試合の審判（主審・線審・得点表示）を担当する。
- (2) 審判は厳正にてきぱきと行う。疑問点は本部に問い合わせる。
- (3) 線審は一ヶ所に一名のみ着席し、明確に判定する。
- (4) 試合終了後はすぐに本部に用具（含シャトル）を返し、結果を報告する。
- (5) 会場内の付属物にシャトルが触れた場合にはフォルトとする。
- (6) 次の場合には棄権とみなす。
 - ①怪我等で試合の続行が不可能な時。
 - ②主審の判定に服さない時。

7 危機管理対応

- (1) 各学校の引率者は、学校から会場までの往復の経路間での事故や災害（雷雨等）など緊急時の連絡方法や避難場所、避難方法等の確認をする。
- (2) 会場内の避難経路を確認する。
- (3) 地震、火災等発生時は、本部や体育館担当者の指示に従って行動する。
- (4) 事故等が発生したら、本部へ連絡する。
- (5) 生徒の健康観察をしっかりと行う。生徒の健康安全を第一に考える。

8 その他

- (1) 試合時間、コートなどが変更される場合があるので、常に進行の状況や放送に注意する。
- (2) 本部の指示に注意し、直ちに指示通りに行動する。
- (3) その他、不明な点、疑問などは本部に問い合わせる。
- (4) この規定は、2020年4月16日より実施する。

令和4年度 大会実施要項

1.大会名

- (1)第61回東京都中学校総合体育大会・第69回バドミントン選手権大会 兼 第53回関東大会予選
- (2)第65回東京都中学校バドミントン新人大会

2.主催・主管・期日・会場・参加数・申込期日

別表の通り

3.種 目

男子団体・女子団体・男子シングルス・女子シングルス・男子ダブルス・女子ダブルス

4.競技規則

現行の(公財)日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程、同公認審判員規程及び都中体連バドミントン部大会実施上の規定による。

5.競技方法

原則としてトーナメントにより行う。すべての大会で順位決めのため、3位決定戦を行う。

団体戦は、5名以上8名以内で構成した学校対抗戦とする。1対抗は複1・単・複2の順でいずれか2点先取で勝敗を決定する。1選手は1対抗に1回のみ出場できる。(単複兼ねられない)

6.参加資格

東京都中学校体育連盟バドミントン部加盟校の生徒で、各ブロックの代表と認められたものとする。ただし、新人大会には3年生は参加できない。個人戦の参加は一人一種目とする。

会場枠として、会場を確保した者の所属校、所属地区またはブロックから、当該会場で行われる種目に各1本ずつ参加できる。

氏名、学校名がプログラムやホームページに掲載されることを了承すること。

7.監督・引率者

参加生徒の監督・引率は、出場校の校長・教員・部活動指導員とする。個人戦の引率については、日常指導している校長・教員・部活動指導員が引率できず、校長がやむを得ないと判断した場合に限り、「東京都中学校体育大会監督・引率細則」により、学校長が承認した者の引率による参加を認める。

8.シャトル

ヨネックス・メロ・落合コーポレーション・VICTOR・ミズノ株式会社、5社の検定水鳥球とする。

9.参加費

団体戦 1校男女各 5,000 円 シングルス 一人 1,000 円 ダブルス一組 1,500 円

10.申し込み

各ブロック委員長または副委員長が、参加費を添えて常任委員会に持参し申し込む。委員長・副委員長が、出席できない場合は、そのブロックの専門委員が代わって申し込む。

また、申し込み期日前日の正午までに、申込書を所定のメールアドレスに送信する。

11.組み合わせ

原則として、申込期日に常任委員会を開催し、常任委員が組み合わせを作成する。

大会期日・会場等一覧

別表

大会名	主催(主管)	期日	種目	会場(会場担当)	参加数	申込期日
第61回 都総体	都教委	7/25 (月)	団体	練馬区光が丘 体育館(Bブロック)	ブロック各4	7/19(火)
第69回 選手権大会	都中体連 (バドミントン部)	7/26 (火)	団体・個人	葛飾区水元総合 スポーツセンター(Cブロック)	新人大会ベスト 4はそのブロッ クにプラス1	
第53回 関東大会予選		7/28 (木)	個人	葛飾区水元総合 スポーツセンター(Cブロック)	★会場枠+1	
第65回 新人大会	都中体連 (バドミントン部)	11/19 (土)	団体	板橋区立上板橋体育館 (Bブロック)	ブロック各4 選手権大会ベス ト4はそのブロ ックにプラス1	11/15(火)
		11/23 (火)	個人	稲城市総合体育館 (Dブロック)	★会場枠+1	

※都中体連主催以外の大会日程

全日本ジュニア選手権大会東京都予選会 8月15日(月) 会場: 練馬区光が丘体育館

第6回ステップアップトーナメント大会 8月12または13日

会場: 武蔵野の森総合スポーツプラザサブアリーナ

第24回東京都冬季大会 1月15日(日) 会場:

22日(日) 会場: 稲城市総合体育館

第53回関東中学校バドミントン大会

8月6日(土)~8月8日(月) 会場: 小瀬スポーツ公園体育館

第52回全国中学校バドミントン大会

8月19日(金)~8月22日(月) 会場: 青森県武道館

第23回全日本中学生バドミントン選手権大会 3月24日(金)~3月26日(日)

各中学校長様
バドミントン部顧問様

東京都中学校体育連盟会長 大塚 洋一
都中体連バドミントン部部長 新井 博幸

令和 4 年度 第 61 回東京都中学校総合体育大会
第 69 回東京都中学校バドミントン選手権大会
第 53 回関東中学校バドミントン大会予選

実施要項

- 1, 主 催 東京都中学校体育連盟
- 2, 後 援 東京都バドミントン協会
- 3, 主 管 都中体連バドミントン競技部
- 4, 協 賛 ヨネックス(株)・(株)メトロ・(株)落合コーポレーション・(株)VICTOR SPORTS
- 5, 期 日 7 月 25 日 (月) 練馬区立光が丘体育館 団体戦 9:00 開場・受付
会 場 7 月 26 日 (火) 葛飾区水元総合スポーツセンター 団体・個人戦 9:00 開場・受付
7 月 28 日 (木) 葛飾区水元総合スポーツセンター 個人戦 9:00 開場・受付
- 6, 種 目 男女団体、及び個人戦単・複 (一選手が単複に重複して参加できない)
- 7, 競技規則 現行の (公財) 日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程、
同公認審判員規程ならびに大会運営規定に準じる
- 8, 競技方法 トーナメントにより優勝を決定する 3 位決定戦は行う
団体戦 2 複 1 単 (単複兼ねられない) D 1・S・D 2 の順 2 点先取
- 9, 参加資格 都中体連バドミントン部加盟校の生徒で、各ブロック代表と認められた生徒
氏名、学校名がプログラムやホームページに掲載されることを了承すること。
- 10, 参加の数 ・各ブロック男女各 4 チーム (人・組)
・会場枠該当校はその種目プラス 1
- 11, 参加申込 各ブロックの委員長が組み合わせ会に申込書を持参し、申し込む
- 12, 参加費用 団体 1 校男女各 5,000 円 単 1,000 円 複 1,500 円
- 13, 組合せ会 常任委員会にて責任抽選で行う
[7 月 23 日 (土) 10:00～ 板橋区立志村第五中学校]
- 14, 表 彰 各種目四位までに賞状および賞品を授与する
- 15, シャトル ヨネックス・メトロ・落合コーポレーション・VICTOR・ミズノ株式会社、5 社の
検定水鳥球とする。
- 16, その他 ・参加校の校長・教員・部活動指導員が引率し、受付時に参加確認書、学校同行
者体調記録表を提出し受付を済ませること。部活動指導員が引率した場合には、
部活動指導員確認書も併せて提出すること。個人戦の引率については、「東京
都中学校体育大会監督・引率細則」に基づき学校長が承認した者も可とする。
・集合時間、タイムテーブルなど詳細をホームページに掲載するので、確認する
こと。
・入館できるのは引率者・選手のみとする。コーチ、応援者、その他の方の入館
できません。会場内での食事はできません。
・上下履きの区別をし、礼儀や態度をしっかりとすること。
・服装は日本バドミントン協会審査合格品とする。関東記念ウェア (過去 3 年ま
で) の着用は認める。背中に規定の校名をつける。ゴミは各自、必ず持ち帰るこ
と。
・詳細は「バドミントン大会実施上の規定」に従って行動すること。
・参加申込にあたり、各校顧問に「参加同意書」を提出すること。また、参加者
は感染症拡大防止に努めること。

2022 年 4 月 21 日

各中学校長様
バドミントン部顧問様

東京都中学校体育連盟会長 大塚 洋一
都中体連バドミントン部部長 新井 博幸

2022 年度

第 65 回東京都中学校バドミントン新人大会

実施要項

- 1, 主 催 東京都中学校体育連盟
- 2, 後 援 東京都バドミントン協会
- 3, 主 管 都中体連バドミントン競技部
- 4, 協 賛 ヨネックス(株)・(株)メトロ・(株)落合コーポレーション・(株)VICTOR SPORTS
- 5, 期 日 11 月 19 日 (土) 板橋区上板橋体育館 団体戦 9:00 開場・受付
会 場 11 月 23 日 (水) 稲城市総合体育館 個人戦 9:00 開場・受付
- 6, 種 目 男女団体、及び個人戦単・複 (一選手が単複に重複して参加できない)
- 7, 競技規則 現行の (公財) 日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程、
同公認審判員規程ならびに大会運営規定に準じる。
- 8, 競技方法 トーナメントにより優勝を決定する 3 位決定戦は行う
団体戦 2 複 1 単 (単複兼ねられない) D 1・S・D 2 の順 2 点先取
- 9, 参加資格 都中体連バドミントン部加盟校の生徒で、各ブロック代表と認められた生徒
氏名、学校名がプログラムやホームページに掲載されることを了承すること。
- 10, 参加の数
 - ・各ブロック男女各 4 チーム (人・組)
 - ・選手権大会ベスト 4 のブロックはプラス入賞数
 - ・会場枠該当校はその種目プラス 1
- 11, 参加申込 各ブロックの委員長が組み合わせ会に申込書を持参し、申し込む
- 12, 参加費用 団体 1 校男女各 5,000 円 単 1,000 円 複 1,500 円
- 13, 組合せ会 常任委員会にて責任抽選で行う
[11 月 15 日 (火) 15:00～ 板橋区立志村第五中学校]
- 14, 表 彰 各種目四位までに賞状および賞品を授与する
- 15, シャトル ヨネックス・メトロ・落合コーポレーション・VICTOR・ミズノ株式会社、5 社の
検定水鳥球とする。
- 16, その他
 - ・参加校の校長・教員・部活動指導員が引率し、受付時に参加確認書、学校同行者体調記録表を提出し受付を済ませること。部活動指導員が引率した場合には、部活動指導員確認書も併せて提出すること。個人戦の引率については、「東京都中学校体育大会監督・引率細則」に基づき学校長が承認した者も可とする。
 - ・集合時間、タイムテーブルなど詳細をホームページに掲載するので、確認すること。
 - ・入館できるのは引率者・選手のみとする。コーチ、応援者、その他の方の入館できません。会場内での食事はできません。
 - ・上下履きの区別をし、礼儀や態度をしっかりとすること。
 - ・服装は日本バドミントン協会審査合格品とする。関東記念ウェア (過去 3 年まで) の着用は認める。背中に規定の校名をつける。ゴミは各自、必ず持ち帰ること。
 - ・詳細は「バドミントン大会実施上の規定」に従って行動すること。
 - ・参加申込にあたり、各校顧問に「参加同意書」を提出すること。また、参加者は感染症拡大防止に努めること。

団体戦 参加確認書
(選手登録用紙)
(男子・女子)

大会名	第 回 東京都中学校バドミントン 大会				
期 日	年	月	日	ブロック	
登 録 選 手 名					
1			5		
		年			年
2			6		
		年			年
3			7		
		年			年
4			8		
		年			年

ふりがな 監 督		校長	任命者
		教員	
		部活動指導員	
コーチ		助言者	
外部指導者 (1名)		※ここは本部記入用です。記入しないで下さい。 IDカード・申請中(外部指導者証番号)	

上記の通り参加します。

学校名 _____

校長名 _____ 公印 _____

- ※ 上記の監督は参加校と同じ学校の教員もしくは部活動指導員であること
- ※ 上記の監督が部活動指導員の場合、部活動指導員欄に○印をし、任命権者を記入すること
- ※ 選手名はフルネームで記入してください。
- ※ 登録選手以外は、試合に出場できません。提出後の選手変更はできません。
- ※ 複数の教員で引率する場合は、1名を監督、他方をコーチとして登録してください。
- ※ 大会当日、受付に提出して、監督証・コーチ証・助言者証を受け取り、必ず着用してください。
- ※ 外部指導者は、運動部指導者証(IDカード)を提示し、必ず着用してください。申請中の場合は、申請書のコピーを提示し、外部指導者証を受け取ってください。

個人戦 参加確認書

（ 男子・女子 ）

大会名		第 回 東京都中学校バドミントン 大会					
期 日		年 月 日		ブロック			
シングルス	1 位			ダブルス	1 位		
	2 位				2 位		
	3 位				3 位		
	4 位				4 位		
位			位				
位			位				
位			位				
位			位				

ふりがな 監 督		校長	任命者
		教員	
		部活動指導員	
コーチ		助言者	
外部指導者 (1名)		※ここは本部記入用です。記入しないで下さい。 IDカード・申請中（外部指導者証番号 ）	
引率者氏名		引率者の身分	学校職員・外部指導者・保護者

上記の通り参加します。

学校名 _____

校長名 _____ 公印

- ※ 上記の監督は参加校と同じ学校の教員もしくは部活動指導員であること
- ※ 上記の監督が部活動指導員の場合、部活動指導員欄に○印をし、任命権者を記入すること
- ※ 選手名は該当のところのみフルネームで記入し、フリガナを付けてください。
- ※ 複数の教員で引率する場合は、1名を監督、他方をコーチとして登録してください。
- ※ 大会当日、受付に提出して、監督証・コーチ証・助言者証を受け取り、必ず着用してください。
- ※ 外部指導者は、運動部指導者証(IDカード)を提示し、必ず着用してください。申請中の場合は、申請書のコピーを提示し、外部指導者証を受け取ってください。
- ※ 引率者氏名は、校長・教員以外が引率するときのみ記入してください。
[大会実施上の規定 2-(2)]による

審判委員会《令和3年度 事業報告》

1. 運営に関して

- (1) 新型コロナウイルス等感染の拡大を防止するため、審判は、個人戦では出場選手を原則とし、不足の場合は引率教員等に依頼した。また、団体戦では、試合を控えている出場校または対戦校から審判を依頼した。
- (2) 教員が初回戦より全ての試合で主審を務めた。出場登録選手が線審を務めた。また、必要に応じて生徒審判員に審判技術の指導をおこなった。
- (3) 審判の割り振りは競技部が担当した。
- (4) 会場・コートに関して
 - ① 大会開始前に計測器でネットの高さを直した。試合の合間に緩んでいるときは張り直した。
 - ② ラインジャッジの椅子は原則として主審から見て右手前と左奥に配置した。
 - ③ コーチ席をエンドライン側に配置する場合、ラインジャッジの椅子から離して置くようにした。
 - ④ 可能な限り、コーチ席背もたれとライン間を2m空けるようにした。
 - ⑤ 必要に応じ、ポストとネットの結び目に隙間ができるときはスズランテープ等で補強した。

2. 主審に関して

- (1) シャトルの交換に関して・・・競技を中断させないために、試合ごとに筒1本（1ダース分）のシャトルを渡し、シャトル交換で競技が中断しないように努めた。
- (2) サービスフォルトに関して・・・サービスのフォルトは、判断に迷う微妙な場合は1度注意を与える（「次からはフォルトにします」と伝える）ようにした。
- (3) 感染症拡大防止のため、勝者サインは主審が記入し、勝者選手にその場で確認させた。

3. その他、競技中の対応について

- (1) 試合中のけが・・・主審は本部役員を呼ぶ（その場で手を挙げる）こと、コーチ席の顧問等がコート内に勝手に入らないようにすることを周知した。
- (2) 主審への質問・・・団体戦の場合は監督または当該プレーヤー、個人戦の場合は当該プレーヤーが丁寧に質問するよう周知した。

4. その他

- (1) 公認審判員規定の理解と指導について・・・各校で生徒向けに配布できるように主審のコールの仕方、スコアシートの記入見本を総会冊子やプログラムに掲載した。

審判委員会《令和4年度 事業計画》

1. 運営に関して

- (1) 新型コロナウイルス等感染の拡大を防止するため、審判は、出場登録選手のみを原則とし、不足の場合は引率教員等に依頼する場合がある。団体戦では、対戦校同士で審判員を出すことを原則とする。
- (2) (1)については、試合進行及び感染状況等により、本部より出場選手以外の人に審判を依頼したり、複数回審判を依頼する場合がある。なお、出場校で審判が足りない場合は大会本部へ申し出る。
- (3) 各大会の準決勝、決勝、3決は原則、教員が主審を務める。ただし、生徒審判の不足の場合は、準決勝以前の試合で主審のみ教員が審判を務めることがある。
- (4) 短縮ポイントの実施は「21点1ゲーム」か「15点3ゲーム、延長は21点まで」とする。
- (5) 新型コロナウイルス等感染拡大防止に伴う対応
 - * 審判は全員マスクを着用したまま行う。また、勝者サインは主審が記入し、勝者選手が確認する。
 - * 審判の前後は手洗い、アルコール消毒の徹底を図る。
 - * 感染拡大防止を最優先に、日本バドミントン協会等が発出するガイドラインに基づき行う。
- (6) 会場・コートに関して
 - * 大会開始前にネットの高さ（152.4cm）を計測する。途中、緩んでいるときは張り直す。
 - * 線審の椅子は、主審から見て右手前と左奥に配置する。
 - * コーチ席をエンドライン側に配置する場合、線審の椅子から離して置く。
 - * 可能な限り、コーチ席背もたれとライン間を2m空ける。
 - * ポストとネットの結び目に隙間ができるときはスズランテープ等で補強する。
 - * 会場担当校（地区・ブロック）生徒に適宜モップがけを依頼する。（シャトル片の掃除のため）

2. 主審・線審に関して

- (1) サービスフォルト・・・判断に迷う微妙な場合は1度注意を与える（「次からはフォルトにします」と伝える）ようにさせ、プレーヤーの自覚を促すようにしたい。
- (2) 不品行な振る舞い・・・過度な奇声を発するプレーヤーには注意を与えるよう指導する。
- (3) シャトルの交換・・・プレーを中断させないために、試合開始前にシャトルを筒に入れて渡す。
- (4) スコアシート・・・上部プレーヤー名横の「ライト (R)」「レフト (L)」の記入欄に○を付けるようにさせる。ダブルスの最初のサービス・オーバー後の点数の記入欄に間違いが多いので注意を促す。生徒審判が本部に報告した時に記入の間違いがあれば、生徒本人に訂正させるよう心がける。
- (5) 教員審判員は、試合前後等で必要に応じて生徒審判員に技術指導を行い、審判技術の向上に努める。
- (6) 線審に対する指導
 - ① アウトの場合はジェスチャーとともに「アウト」と声を出してジャッジするように指導する。
 - ② 審判席の座り方について「線審は椅子の背もたれに寄りかからず、背筋を伸ばして着席する。深めの着席は可」を基本に適宜指導する。

3. 監督・コーチに対する対応について

- (1) 服装・・・マッチ(試合)にふさわしい服装で臨むこと。ジーンズやビーチスタイル、バミューダ、ショーツ、スリッパとサンダルは禁止とする。
- (2) アドバイス・・・団体戦で2面に開く場合や個人戦で同一校の選手が複数のコートでプレーしている時、当該選手にアドバイスをするにはそのコートのコーチ席に着座するように指導する。会場の広さ等の関係でコーチ席を設置しない場合はインターバル以外のコーチングはなしとする。
- (3) チェンジエンス時・・・ゲーム間のインターバルでチェンジエンスしてからコーチングの徹底と指導
- (4) モバイル機器の使用・・・モバイル機器使用による試合中のアドバイス・コーチングは禁止。コーチ席で携帯での通話はもちろんのこと、呼び出し音が鳴った場合でも競技役員長からの「警告」となる。
- (5) 審判への質問は、団体戦の場合は監督または当該プレーヤー、個人戦の場合は当該プレーヤーのみ可。
- (6) 試合中に怪我をした場合の主審の対応は下の4点を基本とする。
 - ① 主審は、選手にプレーが続行できるか（またはリタイアするか）どうかを確認する。
 - ② 主審は、選手から「できる（続行する）」ことを確認できた場合は試合を止めない。または、選手から「できない」と申告があった場合は、速やかに競技委員長を呼ぶ。
 - ③ 出血を伴う場合は、主審はすぐにプレーを中断してストップウォッチを押してスタートし、競技委員長を呼ぶ。
なお処置後、コートに血液がついている場合は、速やかに消毒液等を用いて適切に処理をする。
 - ④ 選手に足のけいれんがおきても、主審は試合を止めたり治療したりの措置はとらない。
 - ⑤ ②③の時に競技委員長を呼ぶ方法は「右手をまっすぐ上に挙げる」。

4. 公認審判員規定の理解と審判技術の指導について

ブロック、地区大会のプログラムに掲載用、各校で配布用に「主審のコールの仕方」をホームページにアップしてある。地区、ブロック大会でもできるだけ都大会と同じようなコールの仕方で行ってほしい。

5. 3級等の審判員資格取得への普及活動

- (1) 都協会の審判検定会の情報をホームページに掲載して、資格取得の為の普及を図る。各ブロックの専門委員の中に複数の有資格者を配置したい。顧問は「都中体連バドミントン部」で日々に登録できる。
- (2) 各支部（区市町村）で登録している顧問で審判検定を希望される方は、各支部経由で東京都バドミントン協会に検定会の開催を依頼する。

指導普及委員会 令和3年度 活動報告

文責 氏井 聡

(1) 東京都中学生バドミントン講習会

期日	会場	対象
8月 2日(月)	調布市立第三中学校	・関東大会出場者
12月 5日(日)	私立 錦城高校	・関東オープン大会都選抜選手 及び都新人大会ベスト8以上の選手
12月 12日(日)	調布市立第三中学校	
12月 19日(日)	私立 明治学院中学校	
1月 10日(日)	調布市立第三中学校	
2月 20日(日)	東大和市立第一中学校	・全日本中学生バドミントン大会メンバー(蔓延防止重点措置中のため参加者を限定した。)
3月 13日(日)	東大和市立第一中学校	
3月 20日(日)	東大和市立第一中学校	

※3月6日での強化練習会は会場確保が難しく中止した。

(2) 東京都中学生バドミントン講習会(合宿)

- ①主 旨 都中体連バドミントン部強化普及委員のもと、社会人、大学生、高校生、中学生と練習し、競技力を向上させ、関東大会、全国大会に備える。
- ②主 催 東京都バドミントン協会
- ③期 日 令和4年3月 29 日(火)～31 日(木)
- ④会 場 山梨県河口湖周辺体育館
- ⑤内 容 基礎・基本練習をもとに各種パターン練習、試合を行う。
- ⑥対象者 新人大会、冬季大会の結果を各強化練習会によって男女各18名程度を選考する。
- ⑦日 程

3月 29 日(月)	9:00	11:00	12:00	18:00	22:00
	集合	昼食	開講式 実技Ⅰ	夕食	ミーティング 就寝
3月 30 日(火)	6:00	7:30	9:00	12:30	13:30 18:00
	22:00	起床	朝練	朝食	実技Ⅱ 昼食 実技Ⅲ 夕食
					ミーティング 就寝
3月 31 日(水)	6:00	7:30	9:00	12:30	13:30 14:00 16:00
		起床	朝練	朝食	実技Ⅳ 昼食 閉講式 体育館発 解散

⇒令和3年度は中止にした。

(3) 全日本ジュニア東京都代表選手選考会

- ①期 日 令和3年8月 15 日(日)
- ②会 場 東大和市立第一中学校体育館
- ③結 果 男子:第一代表 木村一護 第二代表 佐藤策太
女子:第一代表 高橋乃愛 第二代表 皆川恵菜

(4) 第5回ステップアップトーナメント大会

- ①期 日 令和3年8月 15 日(日)
- ②会 場 東大和市立第一中学校
- ③参加資格 各ブロックの予選の上位者で、JOC東京都予選に参加しない者
- ④結 果 なし⇒令和3年度は実施せず。

(5) 第 20 回全日本バドミントンジュニアグランプリ大会選手派遣

- ①期 日 令和3年 12 月 10 日(金)～12 日(日)
 - ②会 場 栃木県 宇都宮市
 - ③選 手 石崎 夏生、山口 祐香
 - ④結 果 予選リーグ敗退
- ※尚、第20回大会をもって、ジュニアグランプリ大会は終了となった。

(6) 第 26 回関東オープン中学生バドミントン大会選手派遣

- ①期 日 令和3年 12 月 28 日(月)～30 日(水)
- ②会 場 山梨県 緑が丘体育館
- ③派遣選手 男子:関口 快斗、石井 大翔、佐藤 策太、岡部 翔
女子:金岡 薫、樋口 丹里、高橋 乃愛、田中 珠聡
- ④結 果 男子:4位、女子:準優勝

(7) 第 22 回全日本中学生バドミントン選手権大会選手派遣

- ①期 日 令和4年3月 25 日(金)～27 日(日)
- ②会 場 徳島県 鳴門市、徳島市、吉野川市
- ③選手選考 男子:木村 一護、佐藤 策太、野口 馳矢、城戸 友翔
女子:高橋 乃愛、田中 珠聡、金岡 薫、樋口 丹里
- ④結 果 第3位

指導普及委員会 令和4年度 活動計画

(1) 東京都中学生バドミントン講習会

期日	会場	対象
8月 3日(水) 8月 14日(日)	稲城市総合体育館(13時～18時) 武蔵野の森サブアリーナ	関東大会出場者 全国大会、アジア交流メンバー
12月 4日(日) 12月 11日(日) 12月 18日(日)	錦城高等学校 未定 未定	関東オープン大会都選抜選手 及び都新人大会ベスト8以上の選手
1月 9日(月) 2月 12日(日) 2月 19日(日) 3月 5日(日)	稲城市総合体育館 未定 未定 未定	都新人大会上位者 全日中メンバー

※日程、会場は仮である。

(2) 東京都中学生バドミントン講習会(合宿)

- ①主 催 東京都バドミントン協会
 ②期 日 令和5年3月 29 日(水)～31 日(金)
 ③会 場 山梨県河口湖周辺体育館
 ④内 容 基礎・基本練習をもとに各種パターン練習、試合を行う。
 ⑤対象者 新人大会、冬季大会の結果をもとに各強化練習会によって男女各12名程度を選考する。
 ⑥日 程

3月 29 日(水)	9:00	11:00	12:00	18:00	22:00
	集合	昼食	開講式 実技Ⅰ	夕食 ミーティング	就寝
3月 30 日(木)	6:00	7:30	9:00	12:30	13:30 18:00
	22:00	起床 朝練 朝食	実技Ⅱ 昼食	実技Ⅲ 夕食	ミーティング 就寝
3月 31 日(金)	6:00	7:30	9:00	12:30	13:30 14:00 16:00
	起床 朝練 朝食	実技Ⅳ 昼食	閉講式	体育館発	解散

※感染状況により、実施を見合わせることもある。

※状況により期間を限定した通いで練習会を行うこともある。

(3) 第6回ステップアップトーナメント大会

- ①主 催 東京都バドミントン協会
- ②期 日 令和4年8月13日(土)
- ③会 場 武蔵野の森体育館 サブアリーナ
- ④参加者 各ブロックの予選の上位者で、JOC東京都予選に参加しない者(3位～8位の6名)。
※参加人数は、感染症対策を考慮して変更、または開催を中止する場合がある。

(4) 全日本ジュニア東京都代表選手選考会

- ①主 催 東京都バドミントン協会
- ②期 日 令和4年8月15日(月)
- ③会 場 練馬区立光が丘体育館
- ④参加資格 東京都及び日本バドミントン協会に加盟しており、下記Ⅰ、Ⅱのいずれかの条件を満たす者
Ⅰ：東京都中学校体育連盟バドミントン部に加盟している生徒で、ブロック推薦を受けた男女各2名
Ⅱ：東京都小学生バドミントン連盟に推薦された小学生男女各2名
※大会の方法は、感染症対策を考慮して変更する場合がある。

(5) 2022ジュニアスポーツアジア交流大会(仮称)

- ①主 催 公益財団法人東京都スポーツ文化事業団
- ②期 日 令和4年9月17日(土)～19日(月)
- ③会 場 駒沢体育館(予定)
- ④選手選考 令和4年度東京都中学校バドミントン選手権大会各種目1位の選手を選出する。
※大会の規模により、各種目2位の選手をBチームとして選出する。

(6) 第27回関東オープン中学生バドミントン大会選手派遣

- ①期 日 令和4年12月25日(日)～27日(火)
- ②会 場 群馬県 桐生ガススポーツセンター
- ③選手選考 東京都新人大会の個人戦シングルス1位2位、ダブルス1位の選手及び戦績の中から20名程度を強化練習会に参加させ、男女5人以内を選考する。

(8) 第23回全日本中学生バドミントン選手権大会選手派遣

- ①期 日 令和5年3月24日(金)～26日(日)
- ②会 場 長野県 長野市 ホワイトリング
- ③選手選考 1月の強化練習会と東京都冬季大会の戦績の内容を考慮して、男女5名以内を選考する。

東京都中学校体育連盟 バドミントン部 規約

第1章 名称および事務局

第1条 本部は、東京都中学校体育連盟バドミントン部と称し、事務局を部長の指定したところに置く。

第2章 目的および事業

第2条 本部は、東京都中学校体育連盟（以下都中体連と略す）の規定に基づいて、東京都中学校生徒の、バドミントン競技の発展普及につとめることを目的とする。

第3条 本部は、前条の目的達成のために、次の事業を行う。

- 1) 東京都中学校生徒の競技会の企画、運営。
- 2) 東京都中学校生徒の技能向上のための研究、および事業の企画、運営。
- 3) 東京都中学校生徒への指導、普及および審判技術向上のための研究、事業の企画、運営。
- 4) その他、目的達成に必要な事項。

第3章 構成および運営

第4条 本部は、都中体連規約に基づいて、都中体連に登録された中学校により構成し、各支部より2名選出された専門委員、および推薦専門委員により運営する。

第4章 組織

第5条 本部に、次の役員、委員、および各種委員会を置く。

- | | | |
|-----------|-----|-----|
| 1) 役員 | 部長 | 1名 |
| | 副部長 | 若干名 |
| | 参与 | 若干名 |
| | 顧問 | 若干名 |
| 2) 会計監査委員 | | 2名 |

3) 専門委員会

4) 常任委員会

5) 実務委員会 1. 総務委員会 2. 競技委員会 3. 審判委員会 4. 指導普及委員会 5. 会計委員会
6) ブロック委員会

第6条 常任委員会は、役員、各ブロック委員会委員長・副委員長、および推薦常任委員により構成する。

第7条 実務委員会は、常任委員を委員長、副委員長とする。各委員長は、必要に応じ、各専門委員に対して、所属を要請することができる。

第8条 推薦専門委員は、いずれかの実務委員会に所属しなければならない。

第9条 ブロック委員会は、各ブロックに所属する専門委員により構成し、委員長・副委員長各1名および必要な役職をおく。ただし、委員長・副委員長は推薦常任委員を除く。

第5章 役員、各種委員の選出

第10条 役員、および会計監査委員は、選考委員会（前記の常任委員をあてる）の推薦に基づいて、専門委員会が選出する。

第11条 推薦専門委員、推薦常任委員は、選考委員会または常任委員会の推薦に基づいて部長が委嘱する。

第12条 各実務委員長、副委員長は、常任委員会の互選により選出する。

第13条 各ブロック委員長・副委員長は、各ブロック委員会の互選により選出する。

第14条 各役員、委員の任期は2年間とし再任を妨げない。欠員補充の場合の任期は前任者の残存期間とする。

第6章 役員、委員の任務

第15条 部長は本部を総括し、部を代表する。副部長は、部長を補佐し、部長に事故ある時は、その職務を代行する。顧問は、この連盟の重要事項について部長の諮問に応ずる。参与は、この連盟の重要事項について部長と顧問の諮問に応ずる。

第 16 条 専門委員は、各所属支部バドミントン部の運営にあたる。また、ブロック委員として所属ブロックの運営に協力する。

第 17 条 専門委員は、各実務委員長の要請、および本人の希望により、各実務委員会に所属し活動する。

第 18 条 常任委員は、本部主催・主管の事業の運営にあたる。また、ブロック委員長・副委員長は、ブロック委員とともにブロック活動の運営にあたる。

第 19 条 会計監査委員は、本部の会計を監査し、専門委員会に報告する。

第 7 章 各種委員会の役割

第 20 条 専門委員会は、本部の最高決議機関とし、次の事項について審議する。

1) 役員、委員の選出 2) 年間事業計画 3) 予算、決算 4) 本規約の改廃 5) その他重要事項

第 21 条 常任委員会は、専門委員会の決定に基づいて、次の事項について審議、執行する。

1) 本部主催・主管の事業の企画、運営に関する事項。

2) 予算執行に関する事項

3) 専門委員会審議事項の原案作成。

4) その他、必要事項。

第 22 条 各実務委員会の職務は、次の通りとする。ただし、各実務委員会の決定事項は、常任委員会の承認を得て実行する。

1. 総務委員会

1) 専門委員会、常任委員会の開催企画、準備、通知。

2) 主催大会の総務に関する事項の処理。

3) 各委員会、各種事業（大会等）の記録の整理。

4) 広報活動

5) その他、必要事項

2. 競技委員会

1) 本部主催・主管競技会の要項作成、準備および競技運営の中心となる。

2) 次年度の各主催・主管競技会の企画、準備。

3) その他、必要事項

3. 指導普及委員会

1) バドミントン競技の普及および競技力向上についての指導法の研究。

2) 競技の普及、競技力向上に関する講習会練習会等の企画準備、および運営の中心となる。

3) その他、必要事項

4. 審判委員会

1) 主催大会の審判に関する事項の処理。

2) 競技規則、審判法に関する研究。

3) 審判に関する講習会等の企画、準備および運営の中心となる。

4) その他、必要事項。

5. 会計委員会

1) 本部の予算・決算の原案作成。

2) 予算執行に関する事務。

3) その他、必要事項。

第 23 条 各実務委員会は、必要に応じて、各委員長が招集する。

第 24 条 各ブロック委員会は、専門委員会・常任委員会の決定に基づき、次の事項について、審議、執行する。

1) ブロック大会の企画・運営に関すること。

- 2) ブロック大会の会計に関すること。
- 3) その他、ブロックに関する、バドミントン競技の発展に寄与すること。

第8章 会計

第25条 本部の経費は、加盟費、大会参加費、その他の収入を持ってこれにあてる。

第26条 本部の会計年度は、毎年4月1日より、翌年3月31日までとする。

第9章

第27条 本部のブロック構成は、別表の通りとする。

第10章

第28条 本部の運営に必要な細則は、専門委員会の承認を得て、別に定めることができる。

第29条 特別に必要を生じた場合は、専門委員会の承認を得て、特別委員会を設けることができる。

第30条 本規約は昭和59年6月12日より発効する。

本規約は昭和61年4月25日より改正施行する。

本規約は昭和63年4月26日より修正施行する。

本規約は平成5年4月22日より改正施行する。

本規約は平成10年9月1日より改正施行する。

本規約は平成12年4月18日より改正施行する。

本規約は令和3年4月22日より改正施行する。

東京都中学校体育連盟バドミントン部規約・別表

ブロックの構成（平成12年9月1日より）

ブロック名	所 属 支 部 名
A（第1・第2）	千代田・港・品川・大田 新宿・目黒・世田谷・渋谷
B（第3・第4）	中野・杉並・練馬 文京・豊島・北・板橋
C（第5・第6）	中央・台東・荒川・足立 墨田・江東・葛飾・江戸川
D（第7・第9）	武蔵野・三鷹・府中・調布・狛江 八王子・町田・稲城・多摩・日野
E（第8・第10・第11）	青梅・福生・あきる野・羽村・西多摩 立川・昭島・小金井・小平・国分寺・国立 東村山・西東京・清瀬・東久留米・武蔵村山・東大和
F（第12）	島嶼

A 申し合わせ事項の対象となる大会

東京都選手権大会(東京都総合体育大会) 東京都新人大会

B 参加本数

- ①団体・単・複とも、各ブロックの参加数は4本とする。
- ②選手権大会では、直前の新人大会で、ベスト8に入賞したブロックに、その本数分を加算し、上位から加算本数分をシードとする。
- ③新人大会では、直前の選手権大会・新人大会で、ベスト4に入賞したブロックに、その本数分を加算し、上位から加算本数分をシードとする。
- ④申し込みにあたっては、各ブロックごとに、上位からシード分を選手権大会ではシード1位～シード8位、新人大会ではシード1位～シード4位、シード分以外を1位～4位として申し込む。
- ⑤会場枠として、会場を確保した者の所属校、もしくは所属地区またはブロックから、当該会場でおこなわれる種目に各1本参加できる。会場枠の申し込みは、当該ブロック長が行う。常任委員会で、会場枠の選考に関して説明を求めることがある。

C 組み合わせの基本方針

- ①各ブロックのシードを含めた上位2本は1/2に分ける、また、上位4本は1/4に分ける。5本目以下は1/8に分ける。その際、できる限り左右のバランスを配慮する。ただし、選手権大会ではシード順位を優先し、入れ替えは行わない。
上位2本は1/2、上位4本は1/4に分ける このことは同列なので、くじを引いて優先を決定する。ただし選手権大会を除く。
- ②参加に欠員があった場合は、その部分を棄権扱いとし、その位置をシード下の位置とする。その順序は欠員のあった人数に応じて、第1シードから第4シードの順とする。Fブロックからの参加に欠員があった場合は上位扱い分から除いていく。
- ③同一校が片寄っても変更はしない。
- ④新人大会では、全日本ジュニア大会への参加者は1/2の山に分ける。

D シードについて

- ①新人大会では新人大会・選手権大会の上位4本、選手権大会では新人大会の上位8本に入賞したブロックをシードする。
- ②前大会の1位～4位のブロックを順に第1シード～第4シードとする。
- ③選手権大会では新人大会ベスト8のブロックを5～8に抽選で入れる。

E シード以外の組み合わせについて

- ①各ブロックの1位を抽選により、新人大会では5・6・7・8・12、選手権大会では9・10・11・12・13(Fブロックが4本参加の場合は14まで)にに入れる。
- ②各ブロックの2位を1位の反対の1/2に抽選により入れる。ただし外シードがある場合は1/4で抽選を行う。
- ③各ブロックの3位・4位を、抽選によって残った番号に入れる。2本を同時に引き、番号の小さい方を3位、大きい方を4位とする。
- ④会場枠は第1～第4シード下の枠に抽選で入れる。
新人大会では、最初に会場枠を17～20から抽選する。25～28のうち会場枠と同じ1/4にある番号を組み合わせに加える。
選手権大会では、会場枠以外の参加が32本の場合は、最初に会場枠を33～36から抽選する。37～40のうち会場枠と同じ1/4にある番号を組み合わせに加える。31本以下の場合は29～32のうち、空いている番号から抽選し、残りは組み合わせから除外する。その際、左右の数のバランスが良くなるように配慮する。

F その他

- ①上記の規定をもっても解決できない事態が生じた場合は、常任委員会で、その都度協議をして決定する。
- ②この規定は、2020年4月17日より発効する。

東京都中体連バドミントン部 都大会組み合わせ 申し合わせ事項<感染症対策期間特例>

東京都中体連バドミントン部協議委員会

(令和4年3月8日)

A 申し合わせ事項の対象となる大会

令和4年度 東京都選手権大会(東京都総合体育大会)

B 参加本数

- ①団体・単・複とも、各ブロックの参加本数は4本とする。
- ②直前の都新人大会で、ベスト4に入賞したブロックに、その本数分を加算し、上位から加算本数分をシードとする。
- ③申し込みにあたっては、各ブロックごとに上位からシード分をシード1位～シード4位、シード分以外を1位～4位として申し込む。
- ④会場枠として、会場を確保した者の所属校、もしくは所属地区またはブロックから、当該会場でおこなわれる種目に各1本参加できる。会場枠の申し込みは、当該ブロック長が行う。常任委員会で、会場枠の選考に関して説明を求めることがある。

C 組み合わせの基本方針

- ①各ブロックのシードを含めた上位2本は1/2に分ける。また、上位4本は1/4に分ける。5本目以下は1/8に分ける。その際、できる限り左右のバランスを配慮する。
- ②参加に欠員があった場合は、その部分を棄権扱いとし、その位置をシード下の位置とする。その順序は欠員のあった人数に応じて、第1シードから第4シードの順とする。Fブロックからの参加に欠員があった場合は上位扱い分から除いていく。
- ③同一校が片寄っても変更はしない。

D 組み合わせ手順

- ①会場枠は第1～第4シード下の枠に抽選で入れる。
- ②令和3年度東京都新人大会において、1位～4位のブロックを順に第1～第4シードに入れる。
ただし、団体戦のシードはベスト4に入賞したブロックを抽選により第1～第4シードに入れる。
- ③各ブロックの1位を抽選により5・6・7・8および9・10・11・12のうち1本(Fブロックが4本参加の場合は2本)に入れる。
- ④各ブロックの2位を1位の反対の1/2に抽選により入れる。ただし外シードがある場合は1/4で抽選を行う。
- ⑤各ブロックの3位・4位を抽選によって残った番号に入れる。2本を同時に引き、番号の小さいほうを3位、大きいほうを4位とする。
- ⑥会場枠以外の参加が28本以下の場合は、最初に会場枠を29～32で抽選する。

E その他

- ①上記の規定をもっても解決できない事態が生じた場合は、常任委員会で、その都度協議をして決定する。
- ②この規定は、2022年3月8日より発効する。

東京都中学校体育連盟

新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン

令和3年4月15日
東京都中学校体育連盟

1 はじめに

本ガイドラインは、「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」（日本スポーツ協会）及び「全国中学校体育大会実施上の COVID-19 感染拡大予防ガイドライン（令和3年4月1日）」（（公財）日本中学校体育連盟）に基づき、本連盟主催大会開催の指針として作成しました。

各競技専門部におかれましては、本ガイドラインや各中央競技団体が作成する競技別のガイドライン等に従って感染拡大防止を徹底し、安全な大会運営に取り組んでいただきますようお願いいたします。

なお、本ガイドラインは、現段階で得られている知見等に基づいて作成しています。今後の知見の集積及び新型コロナウイルスの感染状況により、逐次見直すことがあり得ることにご留意ください。

2 大会開催に当たっての基本的考え方

大会の開催に当たっては、東京都知事の方針に従うことが大前提です。また、運動部活動が学校教育の一環であることを踏まえ、以下の条件が整っていることを開催の条件とします。

- ① 通常の学校教育活動が行われていること。
- ② 運動部活動が停止された場合は、再開後大会に向けた適切な準備期間が確保されていること。

3 大会開催時の感染防止策について

以下の内容は、大会主催者がその運営に当たり留意すべき事項を取りまとめたものです。各競技専門部におかれましては、競技の特性等を勘案して、下記以外の感染拡大防止のための必要な取り組みを適宜盛り込んでいただきますようお願いします。

そして、感染防止のため主催者が実施すべき事項や参加者が遵守すべき事項をあらかじめ整理し、チェックリスト化したもの（見本：別添1～2）を適切な場所（大会の受付場所等）に掲示したり印刷して配付するとともに、各事項が遵守されているか会場内を定期的に巡回、確認することにより、参加生徒を含む大会関係者全員が感染防止のために取り組むことが必要です。

（1）抽選会・監督者会議等における留意事項

- ① 抽選会は、必要最小限の人数による代理抽選とする。
- ② 監督者会議等を実施する場合は、人と人との間隔ができるだけ2m（最低1m）空くようにする。

(2) 参加生徒・大会関係者への事前申し合わせ事項

- ① 原則として開閉会式等は実施しない。
- ② 観客は選手の保護者のみを原則とする。ただし、試合ごとに観客の入れ換えをするなど、密にならないようにすること。また、感染拡大防止を最優先とし、会場の状況等によっては無観客等の措置をとることもためられないこと。
- ③ 飲食時における感染リスクが高いことから、できる限り選手が昼食を必要としない大会計画を立てる。
- ④ 大会に参加する生徒とその保護者は「同意書」（別紙4）に氏名記入、押印の上、所属校の校長に提出する。校長は「同意書」を確認の上、大会申込書に押印する。
- ⑤ 参加生徒及び引率者等は大会前2週間分の体調を「体調記録表」（別紙1）に記録し、健康管理を徹底する。
- ⑥ 引率責任者（顧問等）は、参加生徒から「体調記録表」を回収し、「学校同行者体調記録表」（別紙2）にまとめ、大会当日持参する。
- ⑦ 以下の事項に該当する場合は、大会に参加することができない。（大会当日に書面で確認を行う。）
 - ア 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ウ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- ⑧ 参加生徒を含む大会関係者は全員マスクを持参し、競技等実施時・飲食中を除いてマスクを着用すること。（熱中症等の健康被害が発生する可能性が高い場合は外させる。）
- ⑨ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- ⑩ 手洗い後に手を拭くためのマイタオルを持参すること。
- ⑪ 飲食物やタオルは個々に用意し、共用しないこと。
- ⑫ 競技等実施時を除いて、人と人との距離を確保すること。（できるだけ2mを目安に、最低1m）
- ⑬ 大会中に大きな声で会話、応援等をしないこと。
- ⑭ 大会（試合）前後のミーティング等においても、三つの密を避けること。
- ⑮ 感染防止のために主催者が決めたその他の措置を遵守し、主催者の指示に従うこと。
- ⑯ 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

(3) 大会会場で主催者が準備・実施すべき事項

1) 手洗い場所

- ① 石鹸（ポンプ型が望ましい。）を用意すること。
- ② 手洗いに関するポスター（「手洗いは30秒以上」等）の掲示をすること。
- ③ 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意すること。

2) 更衣室、休憩・待機スペース

- ① 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密にならないようにすること。
- ② ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する人数を制限する等の措置を講じること。

- ③ 室内またはスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、椅子等）については、こまめに消毒すること。
- ④ 換気扇を常に回す、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮すること。

3) 洗面所

- ① トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに消毒すること。
- ② トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示すること。
- ③ 石鹸（ポンプ型が望ましい。）を用意すること。
- ④ 手洗いに関するポスター（「手洗いは30秒以上」等）の掲示をすること。

4) 飲食

- ① 飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう声を掛けること。
- ② 飲食場所は広さにゆとりを持たせ、他の者と密にならないようにすること。
- ③ 飲食は必要最小限にとどめ、指定場所以外では行わず、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話は控えめにするよう指導すること。
- ④ 飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外（例えば走路上）に捨てないように指導すること。
- ⑤ 参加生徒の飲食は参加校の責任においてさせるとともに、ゴミはすべて持ち帰らせること。

5) 会場

- ① 室内で行う場合は、密閉空間とならないよう換気設備を適切に運転したり、定期的に窓を開け外気を取り入れる等の換気を行うこと。

6) ゴミの廃棄（ゴミは持ち帰りが原則）

- ① 万が一ゴミを回収する際にはマスクや手袋を着用し、鼻水、唾液等が付いたゴミはビニール袋に入れて密閉して処分すること。
- ② 作業後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒すること。

7) その他

- ① 唾や痰をはくことは極力行わないよう指導すること。

(4) 大会当日の受付時の留意事項

- ① 受付窓口には、手指消毒剤を設置すること。
- ② 人と人が対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテン等で遮蔽すること。
- ③ 引率責任者（顧問等）に「学校同行者体調記録表」（別紙2）の提出を求め、体調の確認をすること。
- ④ 「学校同行者体調記録表」（別紙2）に記載された者以外の来場者（大会運営役員、補助役員、保護者等）に「来場者体調記録表」（別紙3）の記入を求め、体調の確認をすること。
- ⑤ 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように呼び掛けること。（状況によっては、発熱者を体温計などで特定し入場を制限することもある。）
- ⑥ 参加者がマスクを準備しているか確認すること。
- ⑦ 競技等実施時・飲食中を除いてはマスクの着用を求めること。（熱中症等の健康被害が発生する可能性が高い場合は外させる。）

(5) 参加生徒または顧問(関係指導者)の感染が判明した場合の対応

1) 大会前

- ① 当該参加生徒、顧問、濃厚接触者と特定された者の出場(入場)は認めない。
- ② 団体競技においては、参加申し込み後の選手変更を認める。
- ③ 個人競技においては、欠場とする。

2) 大会期間中

- ① 発熱等の症状を訴える参加生徒を確認した場合は、保護者に迎えに来てもらい速やかに帰宅させる。

3) 大会後

- ① 感染者の所属する学校や行政機関の指示に従う。
- ② 当該の競技専門部は、速やかに事故報告書を作成し、都中体連事務局と感染者が参加した大会当日に会場内にいたすべての者に連絡をする。

(6) その他

- ① 会場への移動等は、各学校で責任をもって行い、集団感染のリスク(3密の条件)を避けること。
- ② 万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取り扱いに十分注意しながら、「学校同行者体調記録表」(別紙2)と「来場者体調記録表」(別紙3)は期間を定めて(1か月以上)保存しておくこと。
- ③ 大会後に参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や、地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針について、施設の立地する自治体の衛生部局とあらかじめ検討しておくこと。
- ④ 各競技専門部は、本ガイドライン及び中央競技団体で作成したガイドラインを基に、競技の特性等を勘案して独自のガイドライン及びチェックリスト等を作成すること。
- ⑤ 今後、社会情勢が大きく変化し、通常の世界生活に戻るなどした場合の対応は、上記の限りではない。

(別添1)

東京都中学校体育連盟 大会開催における感染防止策チェックリスト

(主催者用)

抽選会・監督会議等における留意事項

- ☐ 抽選会は、必要最小限の人数による代理抽選とする。
- ☐ 監督者会議等を実施する場合は、人と人との間隔ができるだけ2m(最低1m)空くようにする。

事前申し合わせ事項

- ☐ 原則として開会式等は実施しない。
- ☐ 原則として無観客で開催する。ただし、選手1名につき保護者1名の観戦は可とする。
- ☐ 大会に参加する生徒とその保護者は「同意書」(別紙4)に氏名記入、押印の上、所属校の校長に提出する。校長は「同意書」を確認の上、大会申込書に押印する。
- ☐ 参加生徒及び引率者等は大会前2週間分の体調を「体調記録表」(別紙1)に記録し、健康管理を徹底する。
- ☐ 引率責任者(顧問等)は、参加生徒から「体調記録表」を回収し、「学校同行者体調記録表」(別紙2)にまとめ、大会当日持参する。
- ☐ 以下の事項に該当する場合は、大会に参加することができない。(大会当日に書面で確認を行う。)
 - ア 体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
 - イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ウ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- ☐ 参加生徒を含む大会関係者は全員マスクを持参し、競技等実施時・飲食中を除いてマスクを着用すること。(熱中症等の健康被害が発生する可能性が高い場合は外させる。)
- ☐ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- ☐ 手洗い後に手を拭くためのマイタオルを持参すること。
- ☐ 飲食物やタオルは個々に用意し、共用しないこと。
- ☐ 競技等実施時を除いて、人と人との距離を確保すること。(できるだけ2mを目安に、最低1m)
- ☐ 大会中に大きな声で会話、応援等をしないこと。
- ☐ 大会(試合)前後のミーティング等においても、三つの密を避けること。
- ☐ 感染防止のために主催者が決めたその他の措置を遵守し、主催者の指示に従うこと。
- ☐ 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

大会会場で準備・実施すべき事項

受付

- ☐ 受付窓口には、手指消毒剤を設置すること。
- ☐ 人と人が対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテン等で遮蔽すること。
- ☐ 引率責任者(顧問等)に「学校同行者体調記録表」(別紙2)の提出を求め、体調の確認をすること。
- ☐ 「学校同行者体調記録表」(別紙2)に記載された者以外の来場者(大会運営役員、補助役員、保護者等)に「来場者体調記録表」(別紙3)の記入を求め、体調の確認をすること。

- ☐ 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように呼び掛けること。(状況によっては、発熱者を体温計などで特定し入場を制限することも考えられる。)
- ☐ 参加者がマスクを準備しているか確認すること。
- ☐ 競技等実施時・飲食中を除いてはマスクの着用を求めること。(熱中症等の健康被害が発生する可能性が高い場合は外させる。)

手洗い場所

- ☐ 石鹸(ポンプ型が望ましい。)を用意すること。
- ☐ 手洗いに関するポスター(「手洗いは30秒以上」等)の掲示をすること。
- ☐ 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意すること。

更衣室・休憩・待機スペース

- ☐ 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密にならないようにすること。
- ☐ ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する人数を制限する等の措置を講じること。
- ☐ 室内またはスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所(ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、椅子等)については、こまめに消毒すること。
- ☐ 換気扇を常に回す、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮すること。

洗面所

- ☐ トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所(ドアノブ、水洗トイレのレバー等)については、こまめに消毒すること。
- ☐ トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示すること。
- ☐ 石鹸(ポンプ型が望ましい。)を用意すること。
- ☐ 手洗いに関するポスター(「手洗いは30秒以上」等)の掲示をすること。

飲食

- ☐ 飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう声を掛けること。
- ☐ 飲食場所は広さにゆとりを持たせ、他の者と密にならないようにすること。
- ☐ 飲食は必要最小限にとどめ、指定場所以外では行わず、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話は控えめにしよう指導すること。
- ☐ 飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外(例えば走路上)に捨てないように指導すること。
- ☐ 参加生徒の飲食は参加校の責任においてさせるとともに、ゴミはすべて持ち帰らせること。

会場

- ☐ 室内で行う場合は、密閉空間とならないよう換気設備を適切に運転したり、定期的に窓を開け外気を取り入れる等の換気を行うこと。

ゴミの廃棄

- ☐ 万が一ゴミを回収する際にはマスクや手袋を着用し、鼻水、唾液等が付いたゴミはビニール袋に入れて密閉して処分すること。

その他

- ☐ 感染防止のため主催者が実施すべき事項や参加者が遵守すべき事項をあらかじめ整理し、チェックリスト化したもの(見本:別添1〜2)を適切な場所(大会の受付場所等)に掲示したり印刷して配付する。
- ☐ 各事項が遵守されているか会場内を定期的に巡回、確認する。
- ☐ 万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取り扱いに十分注意しながら、「学校同行者体調記録表」(別紙2)と「来場者体調記録表」(別紙3)は期間を定めて(1か月以上)保存しておくこと。
- ☐ 大会後に参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や、地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針について、施設の立地する自治体の衛生部局とあらかじめ検討しておくこと。

(別添2)

東京都中学校体育連盟 大会開催における感染防止策チェックリスト (参加生徒用)

大会当日、以下のことをすべて満たしていないと参加できません。

- ☐ 体調に問題がない。(発熱、せき等の症状がない。)
- ☐ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいない。
- ☐ 過去14日以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がない。
- ☐ 「参加同意書」・「体調記録表」を提出した。

参加生徒が守るべきこと

- ☐ マスクを持参すること。
- ☐ 競技等実施時・飲食中を除いてマスクを着用すること。(熱中症等の健康被害が発生する可能性が高く、引率者等から外す指示があった場合を除く。)
- ☐ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- ☐ 手洗い後に手を拭くためのマイタオルを持参すること。
- ☐ 飲食物やタオルは個々に用意し、共用しないこと。
- ☐ 人と人との距離を確保すること。(できるだけ2mを目安に、最低1m)
- ☐ 大会中に大きな声で会話、応援等をしないこと。
- ☐ トイレでは、蓋を閉めて汚物を流すこと。
- ☐ 飲食は必要最小限にとどめ、指定場所以外では行わず、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話は控えめにすること。
- ☐ 飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外(例えば走路上)に捨てないこと。
- ☐ ゴミはすべて持ち帰ること。
- ☐ 唾や痰をはくことは極力行わないこと。
- ☐ 大会(試合)前後のミーティング等においても、三つの密(密閉・密集・密接)を避けること。
- ☐ 感染防止のために主催者が決めたその他の措置を遵守し、主催者の指示に従うこと。
- ☐ 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、学校や顧問等に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

(別紙1)

体調記録表

学校名 _____ 氏名 _____

◎ 自分の体調について、素直に申し出るようにしてください。体調の異変を感じたときは、早めの相談や受診をお願いします。

◎ 下の表の②～④は、症状がなければチェック(✓)を記入してください。

月 日	/	/	/	/	/	/	/
曜 日	()	()	()	()	()	()	()
① 体 温	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
②せき、のどの痛みなど風邪の 症状はない							
③体のだるさ、息苦しさはない							
④味覚や嗅覚(きゅうかく)の 異常はない							

大会当日

月 日	/	/	/	/	/	/	/	/
曜 日	()	()	()	()	()	()	()	()
① 体 温	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
②せき、のどの痛みなど風邪の 症状はない								
③体のだるさ、息苦しさはない								
④味覚や嗅覚(きゅうかく)の 異常はない								

大会当日の確認項目（確認できたら右にチェック(✓)を記入してください。）

⑤ 過去14日以内に、同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいない	
⑥ 過去14日以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、 地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がない	

(別紙2)

令和 年 月 日

No.

学校同行者体調記録表

学校名

記入責任者氏名
(引率者)

- ①発熱(概ね37.5℃以上) ②せき、のどの痛みなど風邪の症状 ③だるさ、息苦しさ ④味覚や嗅覚の異常
⑤同居家族や身近な知人の感染の疑い ⑥感染危険地域への渡航、当該在住者との濃厚接触

	氏 名	本日の体温 (℃)	体調記録表(2週間の間)において、 異常がなければチェック(✓)を記入 すること。						緊 急 連 絡 先		
			①	②	③	④	⑤	⑥	氏 名	続柄	電 話 番 号
引率者											
引率者											
生徒 1											
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											

※枠が不足する場合は、用紙を追加してください。

(別紙4) 保護者から校長へ提出(学校が保管しておく)

同 意 書

東京都中学校体育連盟 ならびに

学校名 _____

校長名 _____ 様

私は、東京都中学校体育連盟主催の東京都中学校選手権大会
_____ 競技に参加するにあたり、健康上の問題はありません。
また、同大会の開催要項、東京都中学校秋季新人大会実施上の感染拡大
防止ガイドラインに従い、同大会に参加することを同意します。

令和 年 月 日

参加者名 _____

保護者名 _____ (印)

大会当日の緊急連絡先 氏名(続柄) _____ ()

電話番号 _____

(別紙4)保護者から校長へ提出(学校が保管しておく)

同意書

東京都中学校体育連盟 ならびに

学校名 _____

校長名 _____ 様

私は、東京都中学校体育連盟主催の東京都中学校秋季新人大会
_____ 競技に参加するにあたり、健康上の問題はありません。
また、同大会の開催要項、東京都中学校秋季新人大会実施上の感染拡大
防止ガイドラインに従い、同大会に参加することを同意します。

令和 年 月 日

参加者名 _____

保護者名 _____ 印

大会当日の緊急連絡先 氏名(続柄) _____ ()

電話番号 _____

